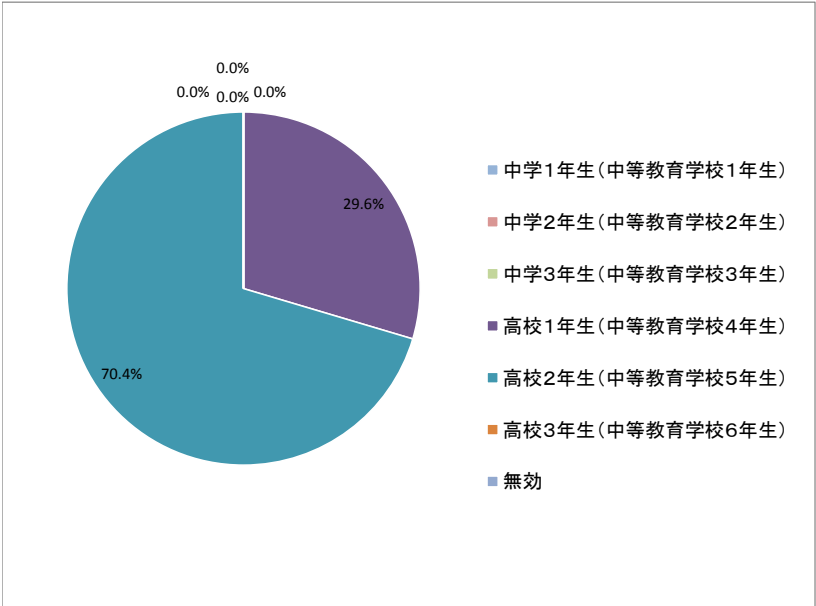


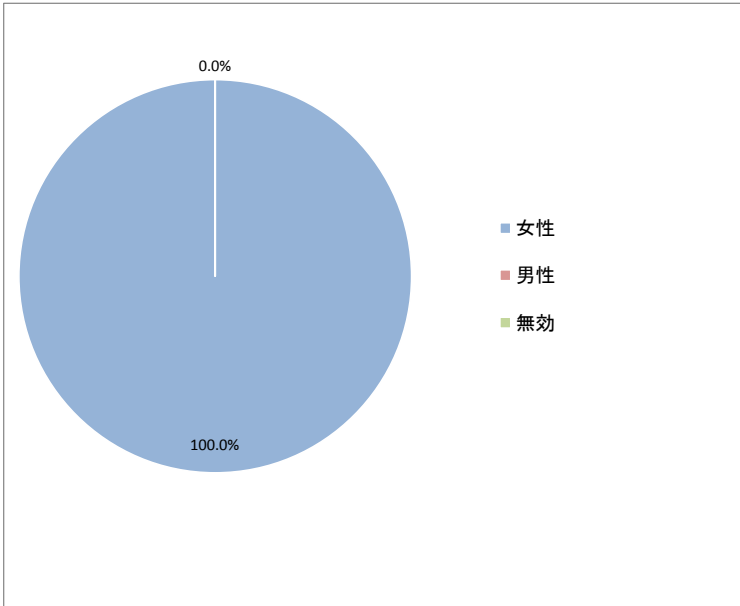
Q1 あなたは現在、何年生ですか？

	人数	割合
中学1年生(中等教育学校1年生)	0	0.0%
中学2年生(中等教育学校2年生)	0	0.0%
中学3年生(中等教育学校3年生)	0	0.0%
高校1年生(中等教育学校4年生)	8	29.6%
高校2年生(中等教育学校5年生)	19	70.4%
高校3年生(中等教育学校6年生)	0	0.0%
無効	0	0.0%
合計	27	



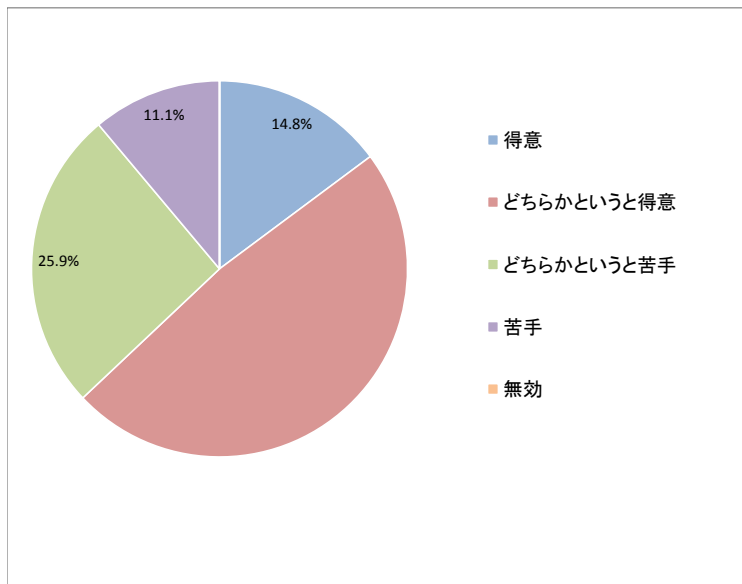
Q2 あなたの性別を教えてください。

	人数	割合
女性	27	100.0%
男性	0	0.0%
無効	0	0.0%
合計	27	



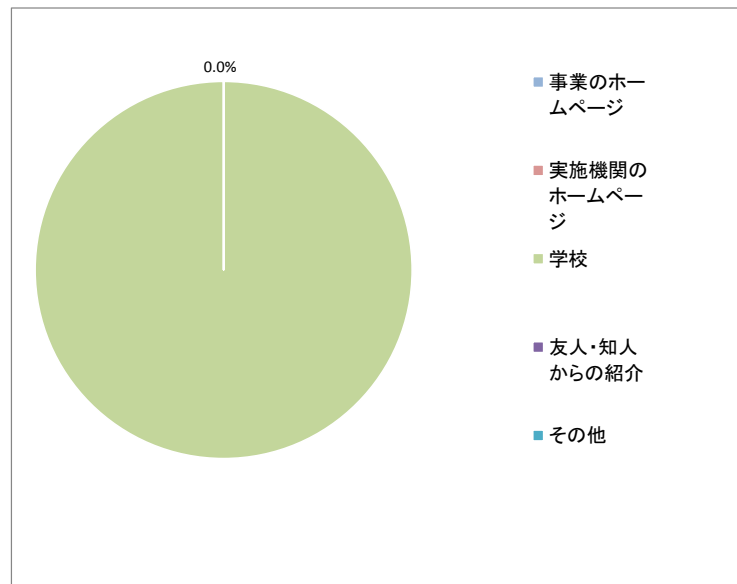
Q3 理科・数学は得意ですか。

	人数	割合
得意	4	14.8%
どちらかという得意	13	48.1%
どちらかという苦手	7	25.9%
苦手	3	11.1%
無効	0	0.0%
合計	27	



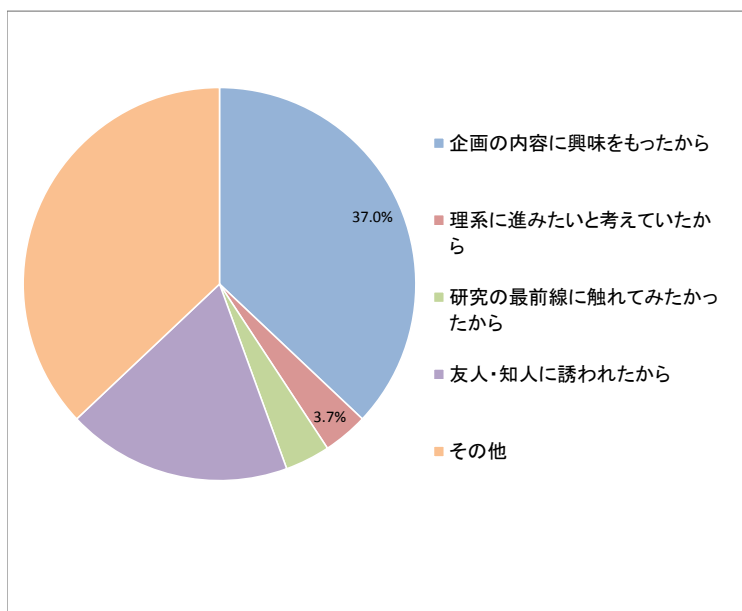
Q4 今回の取組はどちらでお知りになりましたか。

	回答数	割合
事業のホームページ	0	0.0%
実施機関のホームページ	0	0.0%
学校	27	100.0%
友人・知人からの紹介	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	1	



Q5 なぜ今回の取組に参加しようと思いましたか。

	人数	割合
企画の内容に興味をもったから	10	37.0%
理系に進みたいと考えていたから	1	3.7%
研究の最前線に触れてみたかったから	1	3.7%
友人・知人に誘われたから	5	18.5%
その他	10	37.0%
合計	27	

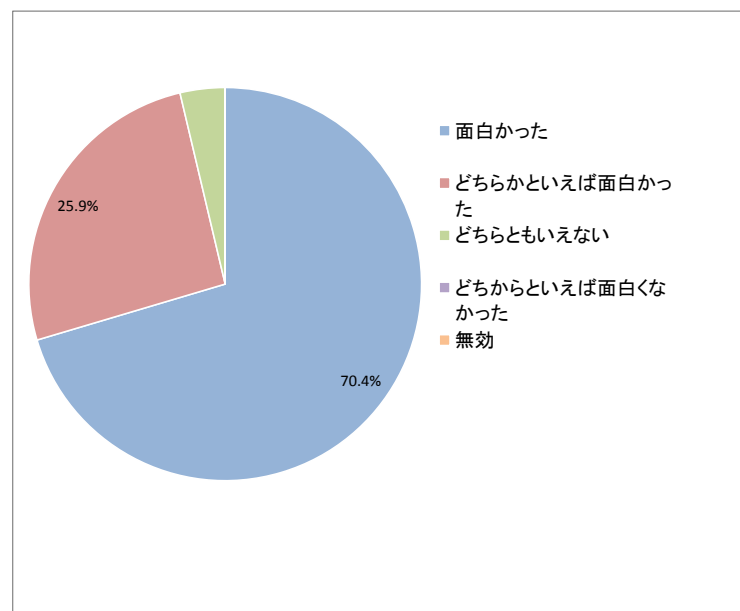


<その他>の内容

- 部活動の活動として参加
- 先生に勧められた
- イレカが見たかった

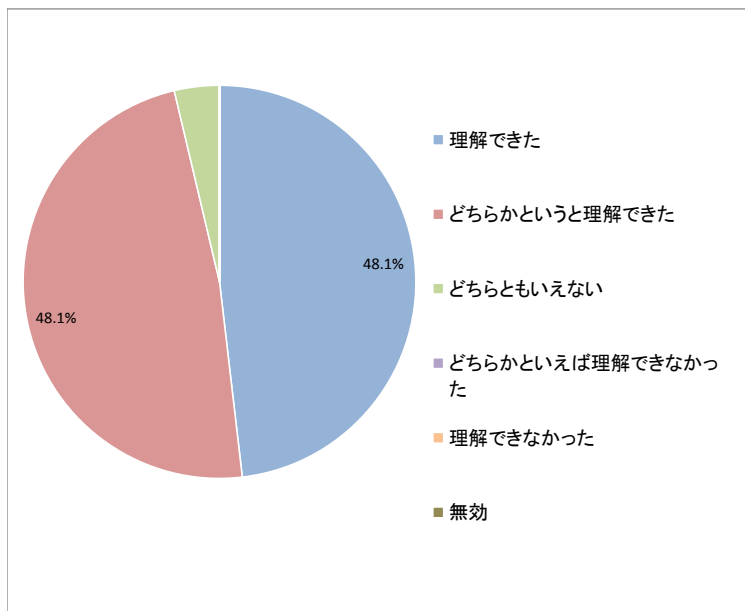
Q6 今回参加した取組は面白かったですか？

	人数	割合
面白かった	19	70.4%
どちらかといえば面白かった	7	25.9%
どちらともいえない	1	3.7%
どちらかといえば面白くなかった	0	0.0%
無効	0	0.0%
合計	27	



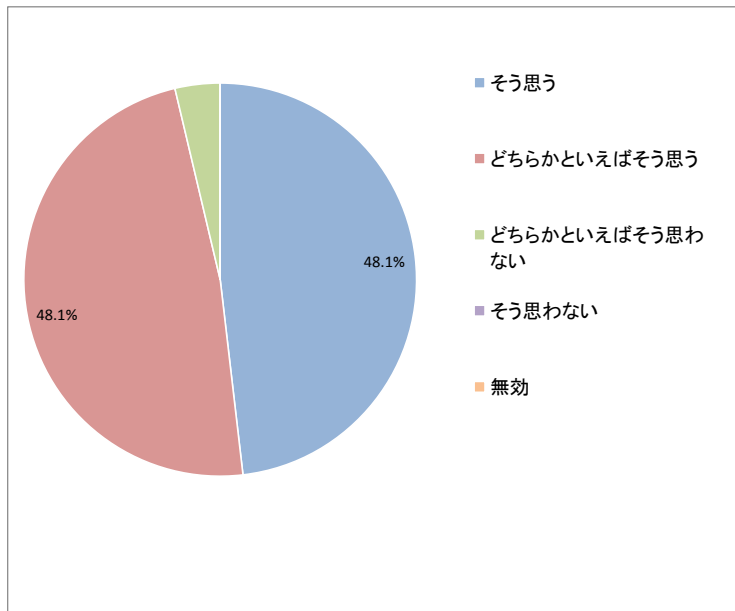
Q7 今回参加した取組の内容を、自分なりに理解できましたか？

	人数	割合
理解できた	13	48.1%
どちらかという理解できた	13	48.1%
どちらともいえない	1	3.7%
どちらかといえば理解できなかった	0	0.0%
理解できなかった	0	0.0%
無効	0	0.0%
合計	27	



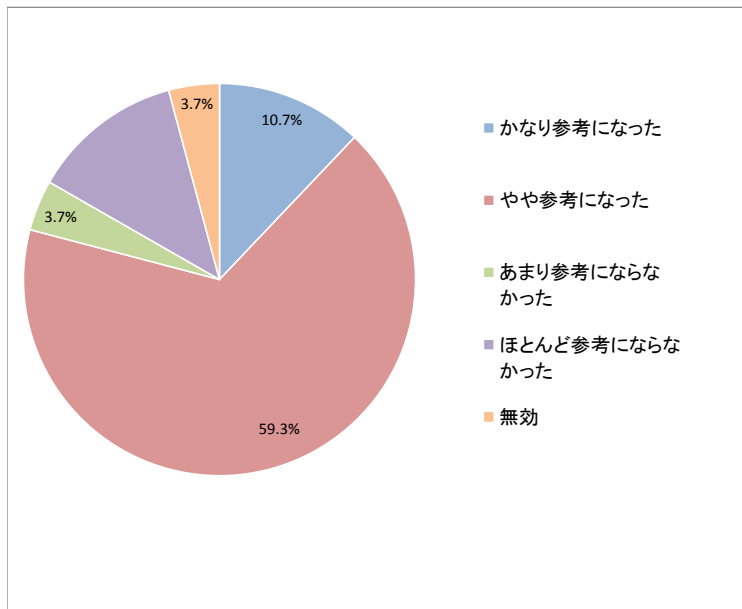
Q8 今回の取組への参加をきっかけに、理科や数学に対する学習意欲は高まりましたか。

	人数	割合
そう思う	13	48.1%
どちらかといえばそう思う	13	48.1%
どちらかといえばそう思わない	1	3.7%
そう思わない	0	0.0%
無効	0	0.0%
合計	27	



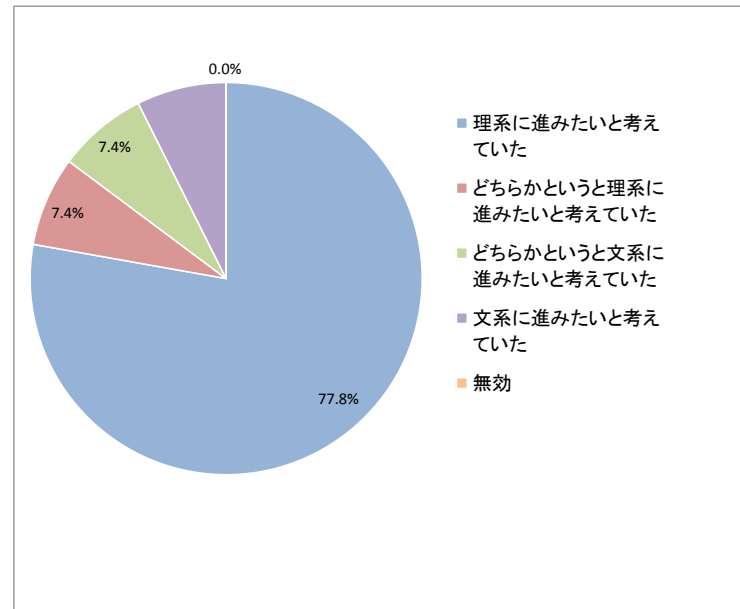
Q9 今回の取組は進路選択の参考になりましたか。

	人数	割合
かなり参考になった	6	10.7%
やや参考になった	16	59.3%
あまり参考にならなかった	1	3.7%
ほとんど参考にならなかった	3	11.1%
無効	1	3.7%
合計	27	



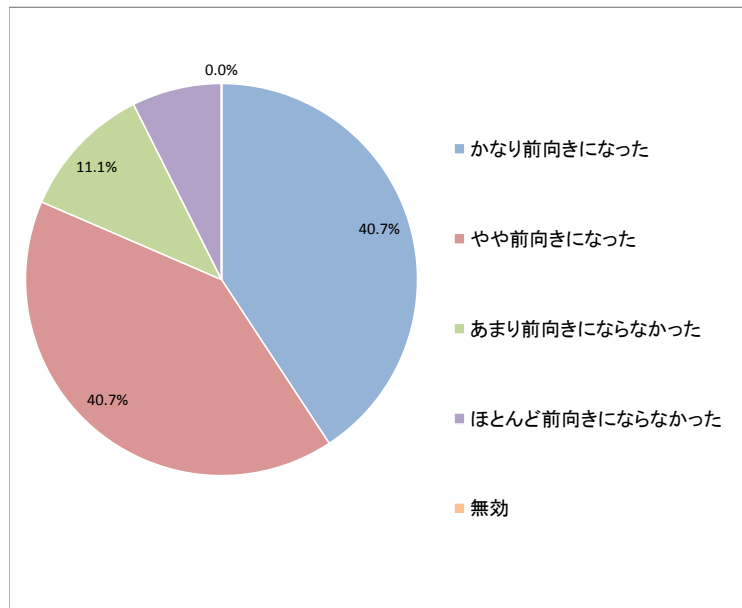
Q10 今回の取組に参加する前は、理系への進学について、どのように考えていましたか。

	人数	割合
理系に進みたいと考えていた	21	77.8%
どちらかというと理系に進みたいと考えていた	2	7.4%
どちらかというと文系に進みたいと考えていた	2	7.4%
文系に進みたいと考えていた	2	7.4%
無効	0	0.0%
合計	27	



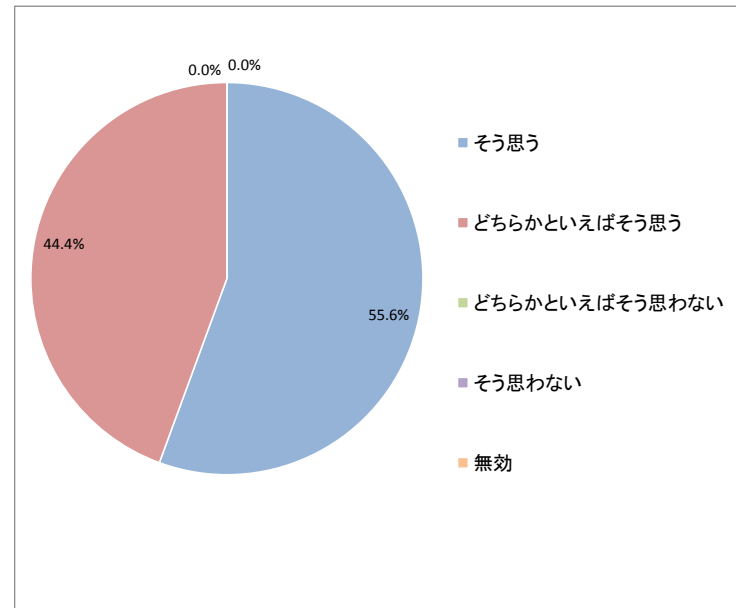
Q11 今回の取組に参加して、理系への進学について、前向きになることができましたか。

	人数	割合
かなり前向きになった	11	40.7%
やや前向きになった	11	40.7%
あまり前向きにならなかった	3	11.1%
ほとんど前向きにならなかった	2	7.4%
無効	0	0.0%
合計	27	



Q12 今回の取組に参加者して、理科・数学を勉強することは、将来自分にとって必要となりそうなので重要だと思うようになりましたか。

	人数	割合
そう思う	15	55.6%
どちらかといえばそう思う	12	44.4%
どちらかといえばそう思わない	0	0.0%
そう思わない	0	0.0%
無効	0	0.0%
合計	27	

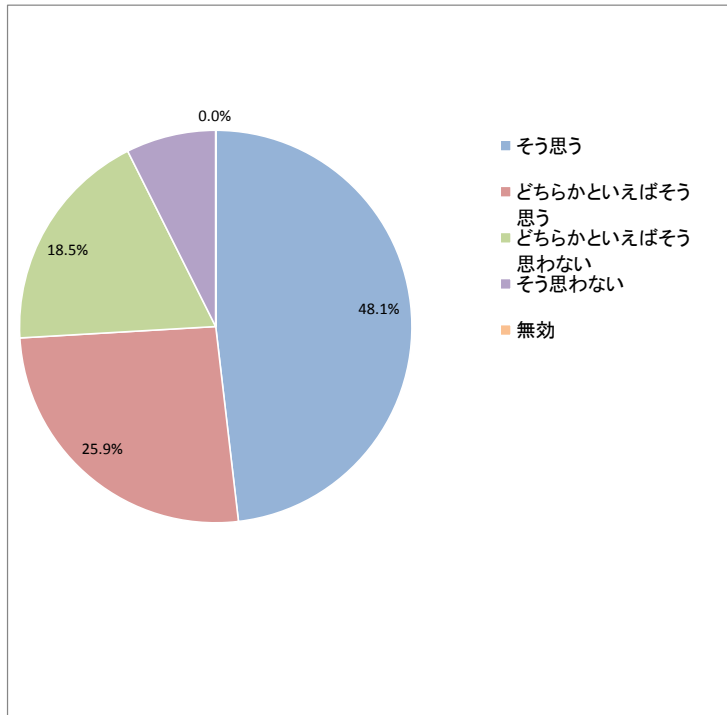


Q13

今回の取組に参加して、科学技術に関連する職業に就きたいと思うようになりましたか。

今回の取組に対する意見や感想を自由に・・・

	人数	割合
そう思う	13	48.1%
どちらかといえばそう思う	7	25.9%
どちらかといえばそう思わない	5	18.5%
そう思わない	2	7.4%
無効	0	0.0%
合計	27	



イルカは見れなかったけど普段近くにはない海に出てよかったし、また、このような機会があればまた参加してみたいと思った。

受けてみたかった講義は天体観測とイルカウォッチングで天体観測は是非とも大学の先生の説明を聞きながら空の星などを見たかったです。

ウニの受精卵が動きまわって形を変えていく様子を見るのは生物の授業や教科書とか資料集よりもリアルで感動しました。

ウニの観察は3日間を通して行いとても印象に残っています。学校の授業で習ったばかりのブルテウス幼生が見れたのは本当に感動しました。

ウニの実験でウニから精子や卵が出るところを見たり受精するところやウニが受精膜から出たりするところなど学校ではできない貴重な体験ができてよかったです。

ウニの受精では、ブルテウス幼生まで見ることができました。受精させて終わりだと思っていたので見る事ができてよかったです。

学校の授業も実験をたくさんしてほしいなと思いました。

この「サイエンスプロジェクト」に参加して、理科(特に生物)に対する興味が前よりわきました。今後の進路選択の参考にしたいです。

この合宿で生物の授業がもっとわかるようになるかなと思うと楽しみです。

今回、道具の使い方や実験操作がうまくわからないこともあったので、理系科目の知識ももっとみがいきたいと思います。

今回、私は理科が好きだったので参加してみたいと思い、参加しました。いろんなことができて、やっぱり理科は楽しいなと思いました。

今回のこの乙女サイエンススクールに参加して、普段行うことができないような実験実習などをすることができ、とても充実した時となった。

今回は普段の部活や授業では体験できないことや知ることができなかった、あるいは興味を持つことがなかったであろうことを知ることができて、とても役に立ちました。

実際に体験することで学校で学べないことや今まで不得意だった顕微鏡もやや使えるようになりました。

何より楽しかったものは、ヤドカリの殻交換でした。入りそうなのに入らないというのに、はがゆい思いもしたのですが、殻を交換したときはテンションが上がってしまいました。

ウニの発生実習では、ウニをここまで深く調べ観察したことなかったけど、生き物ってすごいと改めて思ったし、顕微鏡を毎日使っていると研究者にでもなった気分できれいになることがありませんでした。

船にのって海へ行った時にはゴミや木くずがいっぱいおちでいてキレイな海ばかりに目をやるのではなくこういった今現実的に人間たちが汚染させていることに気づくこともできました。3日間を通して普段触れ合うことのない生物を観察して改めて命はすばらしいと感じさせられました。

ヤドカリでは万力でからを割る時がどのくらい力を入れていいか最初は不安だったけどヤドカリをつかってくさんの実験をすることができたのでよかったです。

理科のいろいろな分野の知識が必要な、クイズなどもあり、さまざまな知識が増えました。私は今まで理系に進んだことを後悔してました。だけど大学でどのようなことをするのか、どのような道があるのか、それを大私は生物を選択してなかったけど、顕微鏡とかを使って最初はどうしたらいいかわからなかったけど、だんだん慣れていって楽しかったです。台風が来たのもあってウニの観察ばかりだったのが残念でした。

私は物理選択なので、生き物を扱った実験がとても新鮮でした。

今回の体験を通して勉強しなきゃって気持ちになったし、理系に進みたい気持ちがいっそう強くなったのでこれから頑張っていきたいと思います。

実験内容はあまり難しくなく初めて知ることだらけだったので、すごく感動しました。特にウニの成長は1学期に習ったところを実際に見ることができたので良かったです。

実際に先生方や大学生の方にいろんな話を聞くことができて参考になりました。特にウニの受精を時間をかけて見るのはとても貴重な体験だったと思います。

朝から晩まで顕微鏡をのぞくという体験は本当に楽しい思い出になりました。大学生の方たちの研究室もすごく楽しそうな雰囲気、絶対大学で生物を研究したいと思いました。

特にウニの実験ではウニ自体あまり生きているものを見て見る機会がなかったし、そのうえ、ハサミで切って塩化カリウムを入れていろんな実験ができて良かったです。顕微鏡も学校にないような顕微鏡を使えていい経験になりました。今後の進学にも役立ちました。

いろいろな学校からきているので、他校の人とふれあったりすることができて楽しかった。それに大学のお手伝いをして下さった方に熊本大学のことなどをたくさん聞かせていただいで将来のことについても改めて考えることができた。